

2019年4月9日

各位

株式会社 みなと銀行

みなと地域貢献寄付型ファンド『三木市とともに』の取扱開始について
～みなと銀行20周年記念事業～

関西みらいフィナンシャルグループの みなと銀行（頭取 服部 博明）は、三木市と締結しました連携協定に基づく事業の一環として、2019年4月1日より掲題新商品の取扱いを開始しましたのでお知らせします。

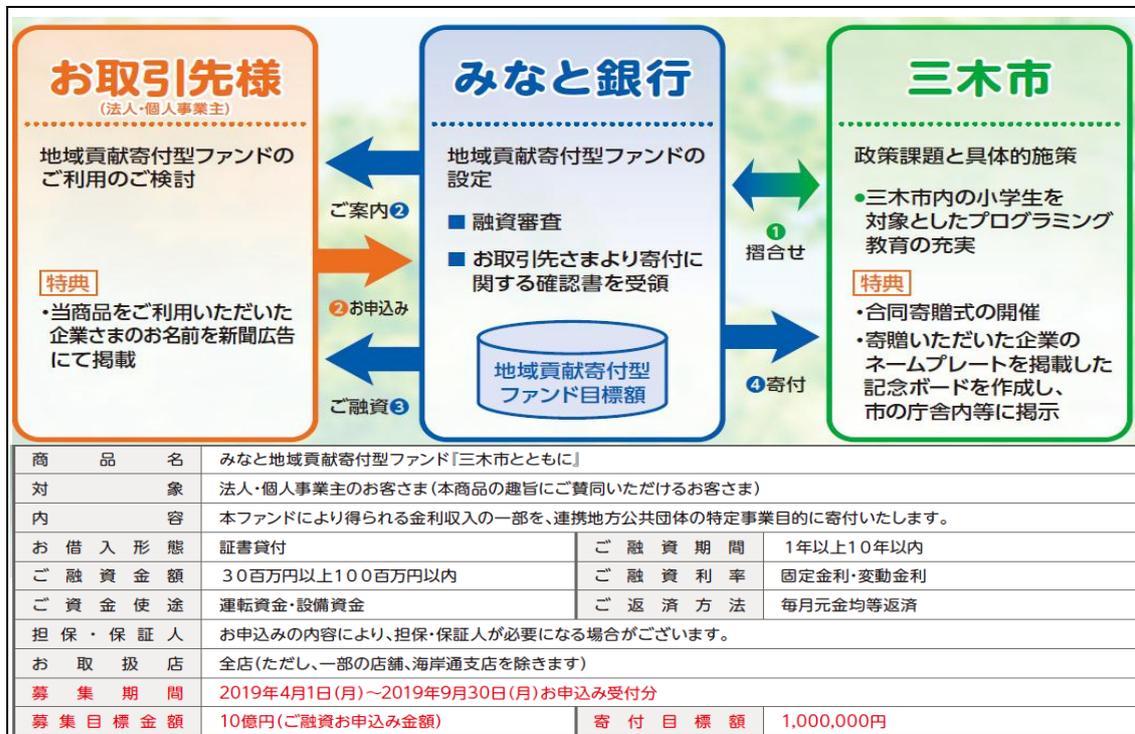
三木市は、地方創生の主要施策として、市内小中学校を対象に「『誇れる教育』の推進に向けた新たな学習環境の整備」を掲げています。本ファンドは、その施策の趣旨にご賛同頂ける法人・個人事業主を対象とした融資商品で、当行は、取扱（融資）額が目標に達した段階で、金利収入の一部を三木市に寄付いたします。（目標額：融資10億円、寄付金100万円）

本寄付金は、三木市内の小学校にタブレット端末やロボット教材を導入する他、中学校では、ICT教育環境を整備するなど、学習環境の充実にお役立ていただく予定です。

尚、同種商品として小野市（2017年6月～12月）、神戸市（2018年1月～）においても取扱いしており、多くの地元企業から主旨にご賛同いただいております。

みなと銀行は、今後も地域の皆さまへの様々な金融・情報サービスの提供を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

【商品概要について】



以上